

学校だより



お逢う地

R6年度 学校教育目標

しなやかに生きる力を身に付けた生徒の育成

～自分らしく・あなたらしく～



3人を派遣します。「……え？どうのこと？」やったー

12・1月のPICK UP！

昨年度まで生徒会限定で派遣していた「全国いじめ問題こどもサミット」。今年度は2年生を対象に公募することにしました。

立候補した3名に、校長・教頭・2年学年主任・児童生徒支援教員の4人で面接を行い、派遣者を1名決定する予定でした。

ところが、3人の熱い想いに面接官が圧倒され1人を選ぶことが困難に……。そして「3人を派遣します」という結論に至りました。

挑戦したいことを自分で決め、覚悟をもって面接に臨み、自分の思いを大人に訴えるという経験は、3名を大きく成長させたようで、そのあとの準備やサミット当日の活躍には目を見張るものがありました。

相知中の生徒は、どの子もやってみたいことに挑戦できる力があります。私たち大人の



仕事はその可能性を信じて、彼らの背中をちょっとだけ押すことではないかと考えています。3名は派遣報告に向けて目下、準備中です。

連絡先

電話番号 : 0955-62-2814

WEBサイト:

<https://www.education.saga.jp/hp/ochi-j/>

緊急メールアドレス: 中止

はなまる連絡帳での対応に変更します。

R7.2.18 第8号

文責 校長 牛草 美佳

受検(験)を経験した先輩から

3年生は卒業後の進路を確定するために、次々と入試に挑戦しています。合格・不合格の結果は容赦なくでるので、不安と怖さでいっぱい生徒もいることと思います。

3年生は毎年、卒業間近になってから「もっと勉強しておけばよかった」と言います。

- ・もっと勉強しておけば、自分が進学したい高校を選べた。
- ・もっと勉強しておけば、入試を不安に思うことはなかった。
- ・もっと勉強しておけば、第一希望で合格したかもしれない。

過去の入試問題を解いたので、分からない所を解説してください、面接が不安なので個別に練習していただけないか、と校長室のドアをたたき今年の3年生の姿は、これまでの先輩たちとは違う新しい相知中の生徒の姿であると感じています。

一方で、もっと早い時期から取り組めていればという3年生の言葉は後輩たちにとっての貴重なアドバイスです。

勉強は、「よし、やるぞ」と思ったときに、まずは自分からなくなっているところがどこかを把握すること。特に積み上げの学習である数学と英語は、プライドを捨てて、小学校の算数の掛け算・分数・小数・割合・比例、英語はアルファベットの練習まで戻ればいいのです。意外と短い時間で取り戻せます。

また、やると決めたことは粘り強く継続する、自分では解決できそうにないことに会ったら誰かの助けを借りる、自分にあった方法をあれこれ試してみる。これらは、「非認知能力」と呼ばれる力です。大学入試や就職試験でもこの力を重視するようになってきています。

人生をよりよく生きるために、これからの時代を乗り越えるために必要な力は、テストの点数だけではないということでしょう。

面接練習でさえも受検者全員で楽しんで取り組む3年生の姿は後輩たちにも引き継いでほしいと思います。



面接練習、順番決めじゃんけん大会

1年生箏発表会

箏の学習を初めてわずか6時間目の1/30、学年の発表会が行われました。全員が曲を暗譜し、演奏。礼法や所作にも心を配る姿はとても新鮮でした。



発表会を見に来てくださった、市内で箏の文化を広げる活動をされている「結の箏」の吉川るり子会長様も、子ども達の頑張りに大変驚かれました。吉川先生からはいきものがかりの「ありがとう」という楽曲を演奏していただき、箏の音色の奥深さに1年生からは拍手喝采でした。箏という日本の伝統文化を担う人が出てくれると嬉しいです。

入賞おめでとう

唐津市長杯争奪卓球選手権大会 準優勝 築山 季代さん